

2013年8月26日

東京都千代田区霞が関1-4-2

川崎近海汽船株式会社

代表取締役社長 石井繁礼

専務取締役 上杉芳人

東京都台東区元浅草1-8-7

株式会社オフショア・オペレーション

代表取締役社長 吉田忠弘

代表取締役専務取締役 井上和男

「業務提携の基本合意について」

川崎近海汽船株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石井繁礼、以下「川崎近海汽船」）と株式会社オフショア・オペレーション（本社：東京都台東区、代表取締役社長：吉田忠弘、以下「オフショア・オペレーション」）は、今後需要が高まることが見込まれる、日本沿岸・近海における海洋資源開発・探査・掘削設備および洋上再生可能エネルギー設備に関わる支援船業務を発展させる目的で、業務提携することに合意致しました。

1. 背景・目的

日本の領海・排他的経済水域（EEZ）等を合わせた資源開発権のある海洋面積は領土の12倍にも及び世界6位の広さを有しており石油・天然ガス等のエネルギー資源の他希少金属など鉱物資源の存在が確認されております。しかし残念ながら我が国の海洋開発事業はアジア域内に於いて他国に遅れを取っている歴然とした事実があります。これらを背景に海洋基本法にもとづく海洋基本計画の見直しが本年4月に閣議決定され海洋開発事業を強化・育成し政策として推し進める事が確認されました。メタンハイドレートの採掘に続き、石油・天然ガス等のエネルギー資源および海底鉱物資源の分布状況や埋蔵量の探査、それに続く発掘の可能性が高まっており、その関連のオフショア支援船業務に対する需要も高まるものと考えております。

又、化石燃料に代わる次世代の再生可能エネルギーとして期待され、すでに実証実験に入った洋上風力発電についても、その設置、維持、管理、警戒に関わる支援船業務がかならず必要となります。

このような需要の具体化及び我が国の海洋開発の事業化の拡がりに備えて日本の領海内での海洋開発に関わる本格的なオフショア支援船運航を2社共同で目指します。

川崎近海汽船は長年にわたる近海・内航事業での信頼性と資金調達力に加え、親会社である川崎汽船および海外グループ会社の持つこの分野での経験・情報を、オフショ

ア・オペレーションは近海域における海洋資源開発の支援（オフショア事業）での豊かな経験・実務ノウハウと、資源開発関係顧客との良好な関係を、それぞれ生かせる形に持って行きたいと考えております。

2. 協業の概要

- 1) 両社にて合弁会社を設立し、オフショア・オペレーションのフリートの1隻の運航を行うことから始め、双方のメリットが活かせる体制を築いていきます。また、今後発展する分野での情報収集および営業開拓およびコンサルティングも行います。
- 2) 新規合弁会社が予定どおりの展開となることを前提に、体制の強化を目指します。その一つとしてフリートの強化を考えております。曳航力・ウィンチ能力等で国内現存船の性能を上回る強力な支援船（AHTS）を新造投入し、より付加価値の高い支援サービスを提供できる体制を目指します。
- 3) その他、業務提携を進めるうえで、発展につながる形をいろいろ考えたいと思います。

3. 問い合わせ先

川崎近海汽船：

専務取締役 上杉芳人 03-3592-5806

理事 池田 強 03-3592-5846

オフショア・オペレーション：

専務取締役 井上和男 03-3847-7551

以上